

2020(令和2)年度 伊賀市青少年センター運営委員会 議事録

■ 開催日時 2020(令和2)年7月30日(木) 午後1時30分から午後2時30分

■ 開催場所 ハイトピア伊賀5階 多目的大研修室

■ 出席委員 19人

河口委員・竹岡委員・松山委員・中浦委員・吉田委員・築田委員・廣岡委員・
西岡委員・増田委員・玉岡委員・池田委員・松田委員・森岡委員・中居委員・
前川委員・森嶋委員・中井委員・岡山委員・若山委員

■ 欠席委員 3人

峰委員・上山委員・田中委員

■ 事務局 中林教育委員会事務局長兼伊賀市青少年センター長

生涯学習課(中井課長・松尾副参事・福永)

学校教育課(林主幹)

伊賀市青少年センター主任補導員(清水・廣岡)

■ 傍聴者 0人

…………… 13:30 開会 ……………

司会(中井課長)

：定刻となりましたので、ただ今から2020(令和2)年度 伊賀市青少年センター運営委員会を開催させていただきます。ご多忙のところご出席を賜わり、ありがとうございます。生涯学習課の中井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

この委員会につきましては、伊賀市青少年センター条例第4条第8項に基づき「委員の半数以上の者の出席がなければ開くことができない」となっておりますが、本日、全委員22名のうち19名のご出席をいただいております、委員の半数以上が出席されております。よって、会議が成立していることを報告させていただきます。

また、この委員会につきましては、伊賀市情報公開条例第24条に基づき、会議の公開を行うとともに、審議会等の会議の公開に関する要綱第8条に基づき、会議録の作成が必要でありますので、録音をさせていただきますのでご了承いただきたいと思います。

それでは、会議の初めにあたりまして、伊賀市青少年センター所長であります中林よりご挨拶申し上げます。

1. あいさつ

中林所長

：みなさん、改めましてこんにちは。教育委員会の中林でございます。私、こちらの所長というかたちで兼務させていただきます。よろしくお願いいたします。

本日は、大変お忙しい中、伊賀市青少年センター運営委員会にご出席をいただきまして、ありがとうございます。日頃は教育行政、特に青少年の健全な育成のためにご尽力いただいております、厚くお礼申し上げます。また、みなさま方には、普段から子どもたちをさまざまな形で見守っていただき、大変感謝しています。

後ほど、委嘱状をお渡しさせていただきますが、新しく委員を委嘱させていただく方につきましては、快くお引き受けいただき、本当にありがとうございます。昨年度から引き続きお世話になります委員のみなさまにつきましても、今年1年よろしくお願いいたします。

本年は、新型コロナウイルス感染症による休校期間の影響がありまして、市内の小中学校では、夏休み期間を8月1日から8月18日までと短縮させていただきました。したがって、1学期は7月いっぱいということで、明日、1学期の終業式を予定しております。

学校におきましても、例年とは違った体制の中、子どもたちのサポートに努めていきたいと思っています。

さて、将来を担う青少年が明るく健やかに育っていくことは、親の願いで、全ての市民の願いでもあります。しかし、依然として、青少年による非行やいじめの問題、虐待など、さまざまな課題について、新聞やニュースで報道されている状況にあります。

青少年センターの補導活動として、地域のみなさまに協力いただきゲームセンターなどを回っておりますが、遊技場で青少年や子どもたちを見かけることは少なくなっていると聞いています。

しかし、携帯電話やインターネットの普及によりまして、子どもたちが犯罪やトラブルに巻き込まれることや、逆に犯罪や問題を起こしてしまうという危険性が高まっています。

ネットによる被害としまして、特に、「自画撮り被害」が増加傾向にあり、その防止のため

に、三重県青少年健全育成条例が改正され、10月1日に施行される運びとなっております。

これは、条例を改正する必要があるほど、青少年への影響が大きいことを示していることだと思っております。

コロナ禍によりまして、情報化社会に一気に加速がかかり、ゲーム依存症などのインターネットなしでは生活ができないような状況になってきています。ネット上でのトラブルの状況は見えにくいので、子どもたちを犯罪や被害から守るために、我々大人が注視していく必要があるとも考えています。

各家庭での取り組みはもちろん、地域のみなさんとともに補導活動をさせていただくことによりまして、地域の大人たちが見守っていることを伝える手段になり、青少年の非行や犯罪の抑止につながっていると考えています。

私たち大人がそれぞれの役目と責任を果たしつつ、学校や地域が一体となりまして青少年育成のための取り組みを進めていくことが、今後も大切であると思っているところです。これにつきましては、これからもご協力をお願いしたいと思っております。

本日は、みなさま方からご意見を頂戴いたしまして、今後の活動につなげていき、1年間色々な施策にも取り組んでいきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2. 委嘱状交付(選出機関・団体からの選出委員交代による就任)

司会(中井課長)

：つづきまして、委嘱状の交付ということで、選出機関および各種団体からの選出委員の交代によりまして、新たにご就任いただきます6名の委員様へ委嘱状を、中林センター長より交付させていただきます。

本日、机に置かせていただいております委員名簿をご覧ください。名簿の順にお名前を呼ばさせていただきますので、恐れ入りますが、前の方へ移動をお願いいたします。

吉田 淳	(よしだ じゅん)	様	築田 マリ子	(やなだ まりこ)	様
西岡 浩司	(にしおか ひろし)	様	増田 昭子	(ますだ あきこ)	様
池田 敏郎	(いけだ としろう)	様	中井 洸一	(なかい こういち)	様

どうぞよろしくお願いいたします。

－ 中林センター長から委嘱状の交付 －

司会(中井課長)

：つづきまして、4月の人事異動によりまして、事務局が異動になっておりますので、紹介をさせていただきます。事務局と学校教育課の紹介をさせていただきます。

－ 事務局・学校教育課の紹介 －

：それでは、これより協議事項に移させていただきます。ここからは、伊賀市青少年センター条例第4条第6項によりまして、委員長に議長をお願いしたいと思います。若山委員長よろしくお願いいたします。

3. 協議事項(議事進行：若山委員長)

若山委員長

：昨年から委員長を預かっております。若山といいます。青山青少年育成会議をあくまであずかっております。本年度6名の方が新たに委嘱をされました。今年1年どうぞよろしくお願いいたします。昨年度の伊賀署管内での非行行為として、刑法犯が7件、ぐ犯・不良少年行為が52件と、年々減ってきているということで大変ありがたく思っております。これもひとえに、みなさま方各団体あるいは地域でしっかりと青少年を見守っていただいているおかげであると思っております。今後もよろしくお願いいたします。

それでは、(1)2019(令和元)年度活動報告について、課題について、報告をいただきたいと思っております。事務局よりよろしくお願いいたします。

－ 事務局より 2019(令和元)年度活動報告について －

－ 学校教育課より「資料1」の説明 －

林主幹

：2019年度、昨年度の事件・事故等の一覧表ということでございます。4月10日から始まって、最後が2月18日で終わっております。昨年度3月から学校が休校に入りましたので、3月には不審者等については確認がされなかったということになっております。

資料の下に件数をまとめた表があります。不審者38件の報告が小中学校からありました。一昨年度と比べると、39件から38件ということで1件減っておりますが、3月から休校であ

ったことを考えますと、一昨年度とほぼ同じ件数になっているかと思います。内訳としては、表のとおりです。1 番多いのが「その他」というところになります。「その他」の中身としては、ケータイやカメラを向けられた、もしくは、ケータイで写真を撮られた、という事案が非常に多くなっています。小学生が登校中にケータイを向けられて写真を撮られた、というような事案でございます。学校の方から教育委員会へ情報がはいりましたら、各関係団体へ情報共有をさせていただきます。学校・警察・青少年センター・放課後児童クラブ・高校の生徒指導事務局に情報を共有させていただいて、子どもたちの見守りにつなげていただくと。学校の方では、メール配信システムというもので、保護者に向けて「こういった不審者の事案が確認されているので注意してください。学校の方でも、集団登校・下校を含めて見守りを強化します。」というような内容で注意喚起をさせていただいております。子どもたちの見守りということに関わっては、伊賀市教育委員会としては、「子ども SOS の家」という取り組みを行っております。現在、1758 か所の家庭にご協力をいただきまして、子どもたちが不審者に出会ったり、危険だと感じた時には、その旗が示しているお家に逃げこんでよいということを学校で話しているという現状です。

交通事故については、14 件発生しておりまして、多くは登校中の自転車によるものとなっております。昨年度は特に 4 月に発生したため、校園長会でも注意喚起をし、子どもたちが自転車で登下校をするにあたって、学校としてもルール等の確認をしながら、ヘルメットの着用や子どもたちが事故にあわないような指導をさせていただきました。

3 月から休校に入り、その間、子どもたちだけで自宅で過ごしているところに不審者が忍び込むという事案が発生しておりましたので、メール等で家庭に向けて注意喚起をさせていただきました。

今年度につきましては、現在、不審者としては 9 件を確認しております。9 件とも関係機関と情報共有をして対応しております。

ひとつ、こういった事例がありました。下校中に 50 歳代の男性が後ろをついてきたというものです。小学校 5 年生の男の子でしたが、その際に地域の方から「おかえり」と声をかけていただいたので、その子も安心して帰宅でき、ついてきていた人もいなくなった、という事案がありました。

昨年度、警察からも、子どもたちのながら見守りのご協力をお願いさせていただきましたが、

地域の中で子どもたちを見守っていただいたり、車でお仕事をされながら子どもたちを見ていただく、こういったことが子どもたちの安全を守ることにつながっていくのだと感じさせていただいております。今後とも、よろしくお願いいたします。以上です。

若山委員長

：事務局および学校教育課から説明をいただきましたが、質問等をお受けさせていただきますので、挙手なり発言をしていただきたいと思います。

たいへん、みなさまの活動のおかげもあって、事件等があまり増えていない状況にあり、大変うれしく思っております。

それでは、ないようですので次に移らせていただきます。

(2)2020(令和2)年度の活動概要について説明をお願いいたします。

－ 事務局より 2020(令和2)年度活動概要について －

若山委員長

：説明をいただきましたので、質問等をお受けさせていただきますので、挙手なり発言をお願いいたします。

いかがでしょうか。日頃、新型コロナウイルスの関係で感じておられることなどでも結構ですが、いかがでしょう。

川口委員

：報告の中でもありました、スマートフォンやインターネット云々の話ですが、昨日テレビ番組を見てみると、タレントやお笑い芸人・その他いろいろな分野の専門家が出演している中で、スマートフォンの使い方ですごくびっくりしたことがありました。スマートフォンを動画の状態で24時間オンにしておいて、若い男女がお互いの部屋で同じ状況にしておく。つまり、その部屋に行かなくても、相手の家の様子が分かり、相互に交流していると。そのあとに出た言葉で、「これで同棲経験ができているのだ」と。年配の漫才師は驚いていましたけども、20歳くらいの子は、「しょっちゅうやっている」と平気で言っていました。指導や支援をする我々が、全くそういった知識がない中で指導していくのは大変だと思いますし、そのことを放送していいのだろうかという疑問に思います。たいへんな世の中だと感じます。

若山委員長

：ありがとうございます。今の世の中の現状というのは、大変ゆよするところがあります。みなさん

も気をつけていただきたいと思います。他にどうでしょう。

玉岡委員

：街頭補導などからは少し離れて、長い間、新型コロナウイルスの影響で学校の児童が長い間休校により自宅待機となりました。年長から小学校低学年にかけての期間は、自分の人間形成にたいへん重要な時期であります。今は、他人と近づくことが怖いとか、学校ではひとり登校とかおしゃべり禁止とか、そういった中で、学校関係の方がこちらにおみえですが、休校が終わってからの子どもたちの状態としてはどういったものがあったか、そういった点でお聞かせいただけたらと思います。

若山委員長

：休校期間後の子どもたちの様子について、学校関係者の方から報告いただけたらと思います。

中浦委員

：はじめての経験で、コロナによる自粛という休校で、子どもたちもストレスを抱えながらの休校生活だったと思います。ご家庭や地域の方にお世話になり、休校を終えて5月18日から分散登校などが始まり、6月1日から通常にもどっております。休校を終えての様子ですが、子どもたちには非常に緊張している様子があり、いつもとは違った様子での登校でした。ご家庭でもコロナ対策として実施していただいていたおかげだと思いますが、思っている以上に子どもたちの手洗いが上手であったり、いろいろなことに気をつけることができていました。しばらくして、平常の日常がもどってきて、やっと子どもたちらしさがでてきたかな、という感じが見られてきました。

コロナによるストレスをどこかで感じているのだろうな、というのは感じます。学校としては、文科省のガイドラインに従って、ほぼ平常どおりの授業を行っていますし、学校としても、子どもたちにつけていって欲しい力をつけるための指導を、可能な限りしているところです。

食事の時にはしゃべらない、遊ぶ際には離れる、などの指導はありますが、3密をとった対策を取りながら、ほぼ通常に近い学習活動ができている状況であります。

少数の子どもたちのことですが、不登校ぎみであった子どもたちの登校日数が、一方で多くなっているという現状もあります。子どもたちにとっては、ある意味充電期間になり、6月から登校することができた、ということもありましたので紹介させていただきました。

若山委員長

：それでは、高校の方からも報告をお願いします。

吉田委員

：状況としては、小学校と変わりませんが、新入生が違う中学校から来ていて、入学式はしたもの、6月の登校まであまり顔を合わす機会がなかったということで、かなり緊張した状態で学習活動を再開し、緊張がとけるまでにおおよそ1ヶ月ほどかかったという印象を受けております。

また、3年生については、大学入試を控えて、学習活動の遅れに大変敏感になっており、そのことでストレスを感じたり、とても焦ったり、大学入試のこの先の方向性がわからないところがあり、いろんなところで戸惑っている状態であります。

長い休校により、また、急に気温が高くなっていることに加えて、長時間の学習に対して肉体的な負担が大きい状態があります。それは、今でも続いている状況です。

1学期が明日で終わりますが、上野高校では8月以降も課外授業として、補習授業等も続けて1学期の学習の遅れを取り戻すことになっております。この非常に短い夏休みに大きなストレスを感じているということと、代替試合はおこなわれているのですが、今年度はインターハイや甲子園がなかったということで、目標を見失って残念な思い・悔しい思いをした生徒が多数いたことは事実であります。

築田委員

：学校再開後、最初は緊張した面持ちでやってきました。特に1年生は、字も書けない、鉛筆も持てない、という段階で休校に入っしまい、その上、課題を渡されていったい何をしたらいいんだという状態にあったのですが、今は2か月たち、徐々に取り戻しているところです。

教室をまわった際に、給食を静かに食べている姿が見られました。一列方向に座っておしゃべりをせずに食べている姿を見て、子どもたちも、お家の方に言ってもらって考えてやっているんだなと思っていました。

ただ、子どもというのはくっついてしまうもので、暑いため、遊びの時間にはマスクを取ってくっつかないように指導していますが、つつい寄っしまい密だからと離される、そんな状況で子どもたちにたくさんストレスがかかっていると思っています。また、生活の中で、毎朝の検温を実施

していますが、それにより、協力を得られる家庭か、協力が得にくい家庭であるかがはっきりしてきており、その中で夏休みに入るということで、家庭での生活に気を付けていきたいと思っています。

若山委員長

：ありがとうございました。学校現場での報告をいただきました。

たいへん子どもたちは戸惑っている状況だと思います。大人も同じように戸惑っている状況だと思います。特に学校が休みの間、ご家庭にたいへんご苦勞を掛けている状況も見られるということで、苦しい思いをされていたのだという感じも受けます。ただ、この状況をしっかりと私たち大人が支えあい、地域の子どもたちをしっかりと育てていく責任があると思いますので、みなさんのご協力をお願いいたします。

他に発言いただける方はどうぞ。

松田委員

：インターネットを介しての子どもたちの被害も増えてきており、とても心配な状況だと思いますので、地域のみなさんに参加していただける講座を、三重県の少子化対策課で開催しておりますので、ご興味がある方がいらっしゃったらご連絡いただけたらと思います。

若山委員長

：ありがとうございました。児童相談所からのお話でした。

言えないこともあるかと思いますが、児童虐待について児童相談所にあがっている件数は多いのでしょうか。

松田委員

：今年はコロナの休校期間は静かでしたが、休校期間が終わって2週間ほど経ったくらいから急に増えてきて、そんな状態が続く中で夏休みに入っていく感じです。

虐待の案件は、例年と同じくらいであるとは思いますが、意識がとて高くなってきているように感じます。地域の方からの通告も増えてきているように思います。

若山委員長

：ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

ないようですので、これで終了させていただきます。

司会(中井課長)

：若山委員長ありがとうございました。事項書4「その他」になりますが、他にございますでしょうか。

長時間にわたり、熱心にご審議いただきありがとうございました。本日の委員会でご承認いただきました活動方針に基づきまして、青少年センター主任補導員を中心といたしまして、関係機関・関係団体との連携を図りながら補導活動を実施していきたいと思います。

本日承認いただきました事項につきましては、要覧としてまとめまして広く配布をいたしたいと思います。

今後とも、伊賀市の未来を担う青少年の健全育成のために、委員の皆様のご指導、ご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

これで、2020(令和2)年度 伊賀市青少年センター運営委員会を終了させていただきます。
本日は、ありがとうございました。

…………… 14：30 閉会 ……………